

「女性職員の在職及び採用状況調査」結果ポイント

一般社団法人 全国建設業協会 労働部

先般、策定された「ニッポン一億総活躍プラン」（平成28年6月閣議決定）においては、女性の活躍は一億総活躍の中核であり、一人ひとりの女性が自らの希望に応じて活躍できる社会づくりを加速することが重要とされている。

（一社）全国建設業協会では、平成26年8月に国土交通大臣と建設業5団体と策定した「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を実行に移すため、「建設業における女性の活躍の場の拡大のためのロードマップ」を作成し、取組を推進している。

今般、これらに基づく取組を進める上での課題を把握し、今後の対応に当たっての基礎資料とするため、47都道府県協会を通じて、全傘下会員企業を対象に、女性職員の在職状況、女性の職場環境について実態調査を実施した。

I. 女性技術者・技能者の採用・定着状況

○女性職員の採用割合が増加

女性の最近1年間の採用者の男女比率は、「女性」が17.0%（前年同期15.6%）となり、昨年と比べ女性職員を多く採用している。

○技術者・技能者を積極的に採用

最近1年間に採用した女性の職種は、「技術者」が24.8%（同22.7%）、「技能者」が8.0%（同7.4%）となった。

○在職女性職員は1年前に比べ、1,509人純増

II. 女性技術者・技能者の職場環境

○女性のいる現場は全体の6.5%（同5.5%）

○女性のいる現場を持つ企業の約12.9%の企業が「すべての現場で女性トイレを設置」

「すべての現場で設置」は12.9%（同9.9%）、「一部の現場で設置」は21.5%（同14.6%）となり、合わせると34.4%となった。前年同期24.5%に比べ9.9ポイントの上昇となった。

○女性のいる現場を持つ企業の6.9%の企業が「すべての現場で女性更衣室を設置」

「すべての現場で設置」は6.9%（同5.2%）、「一部の現場で設置」は15.3%（同9.3%）となり、合わせると22.2%となった。前年同期14.5%に比べ7.7ポイントの上昇となった。

III. 女性活躍のための企業の取組状況

○女性職員の活躍促進の取組は「子育て支援」が最多

続いて「積極的な女性の採用」、「教育訓練の実施」が多かった。

○ワークライフバランスの取組は「所定外労働時間の削減」が最多

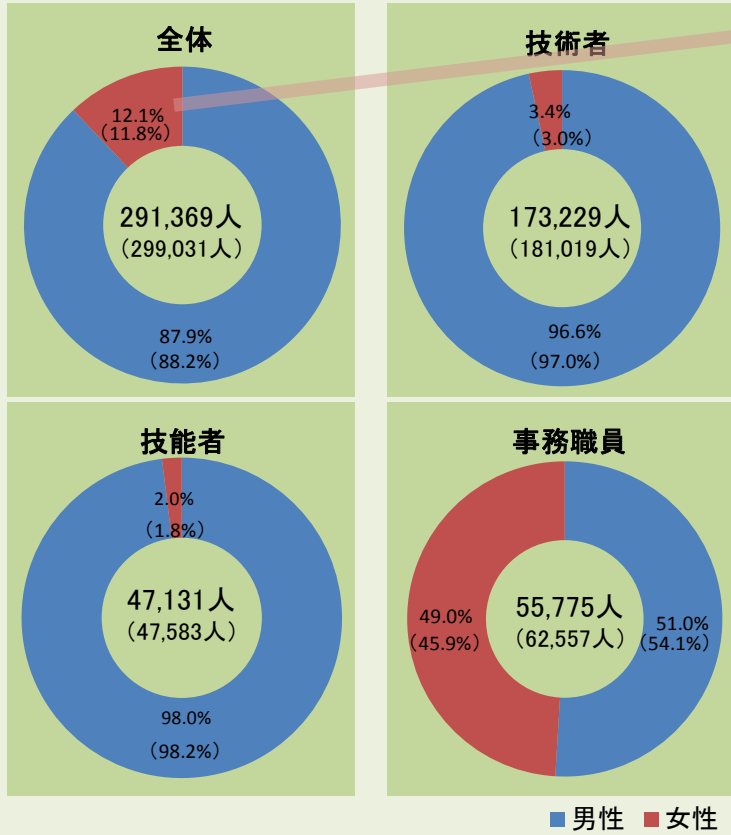
女性職員の在職及び採用状況調査結果

概要

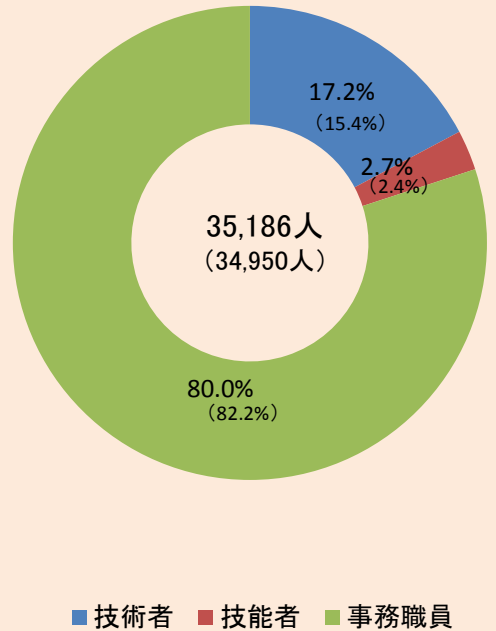
期間：9月1日の状況について平成28年9月に実施
 調査対象：47都道府県建設業協会会員企業（19,250社）
 回収率：44協会8,386社より回答があった／回収率は43.6%（去年は43.5%）

I. 女性技術者・技能者の採用・定着状況

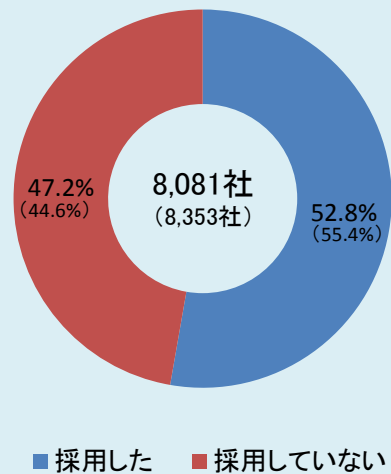
在職者の男女比率



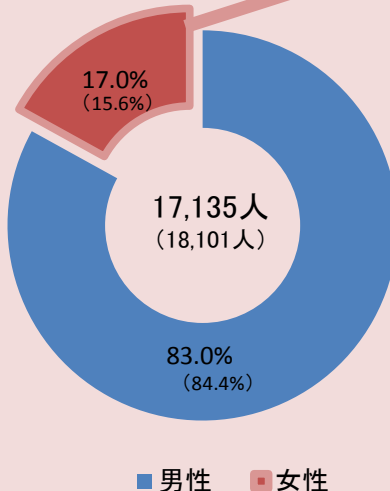
在職女性職員の職種



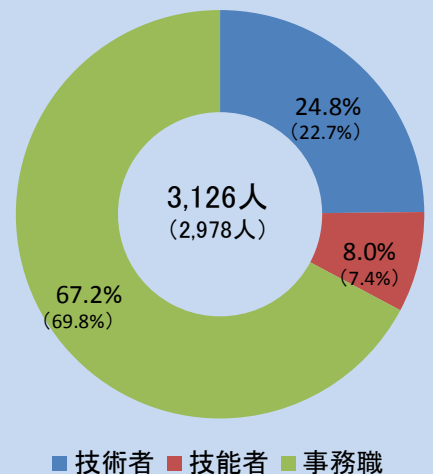
最近1年間の採用の状況



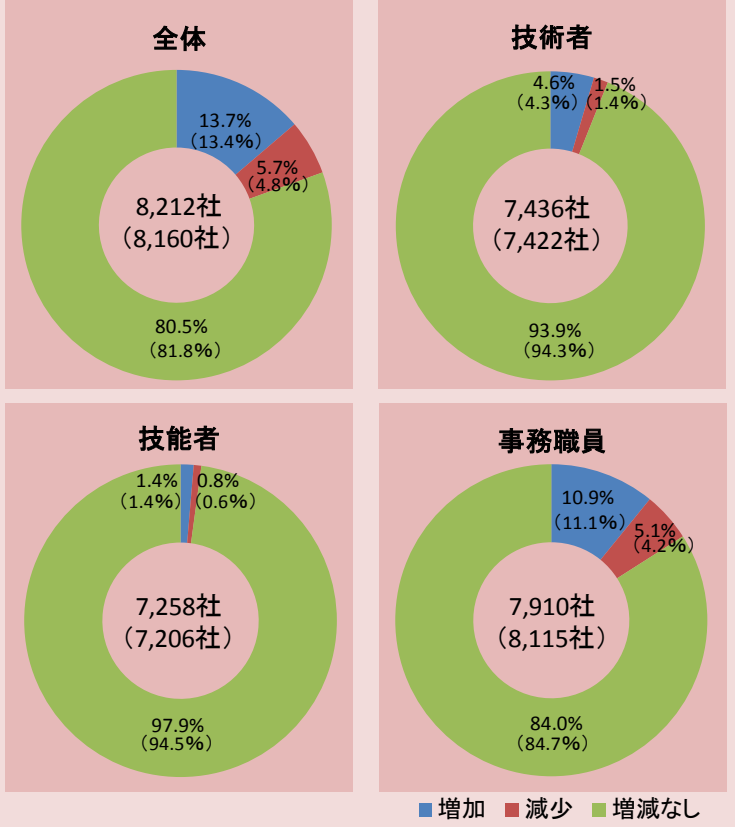
最近1年間の採用者の男女比率



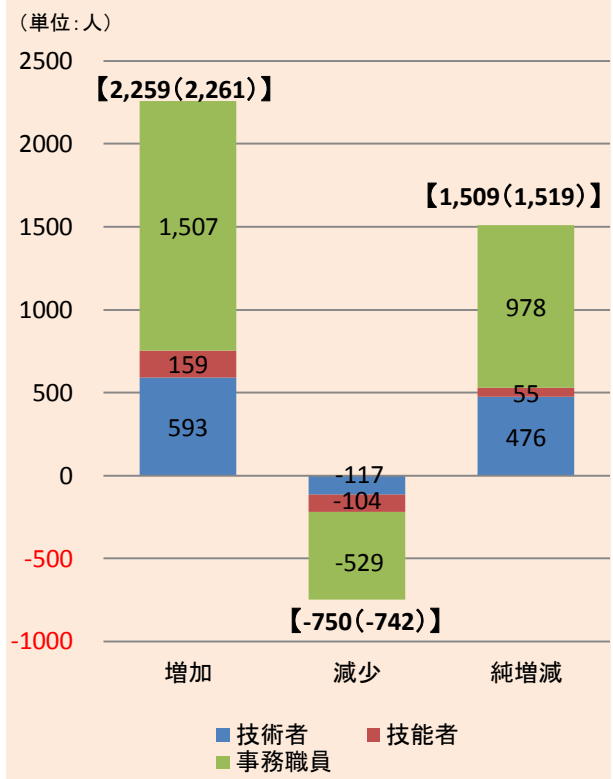
最近1年間に採用した女性の職種



女性職員の増減について

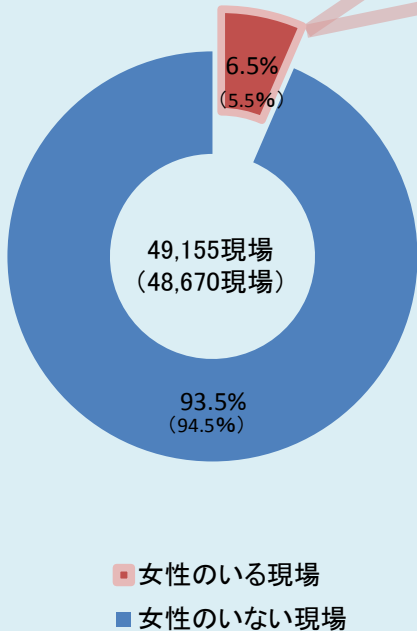


在職女性職員の増減 (平成28年9月1日現在、前年同日比)

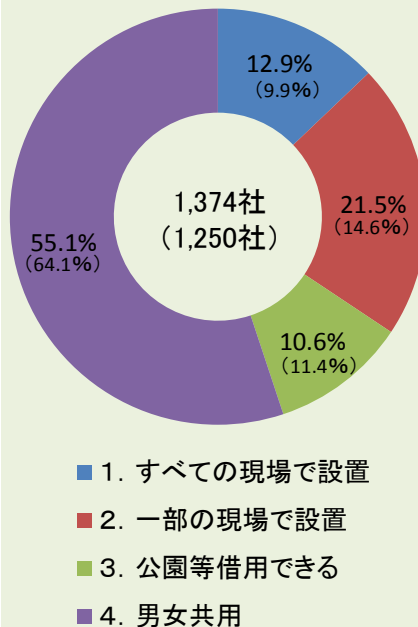


Ⅱ. 女性技術者・技能者の職場環境

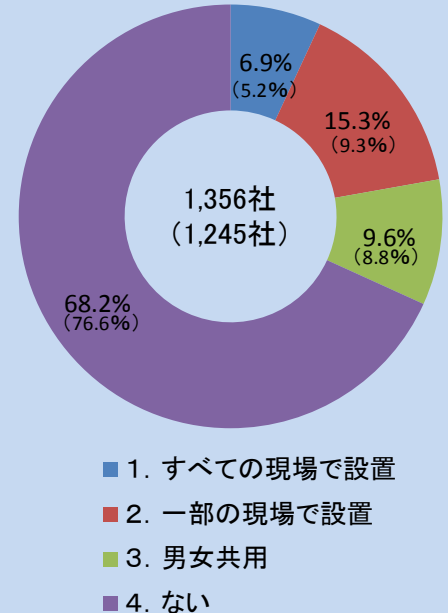
女性のいる現場



女性トイレの設置状況

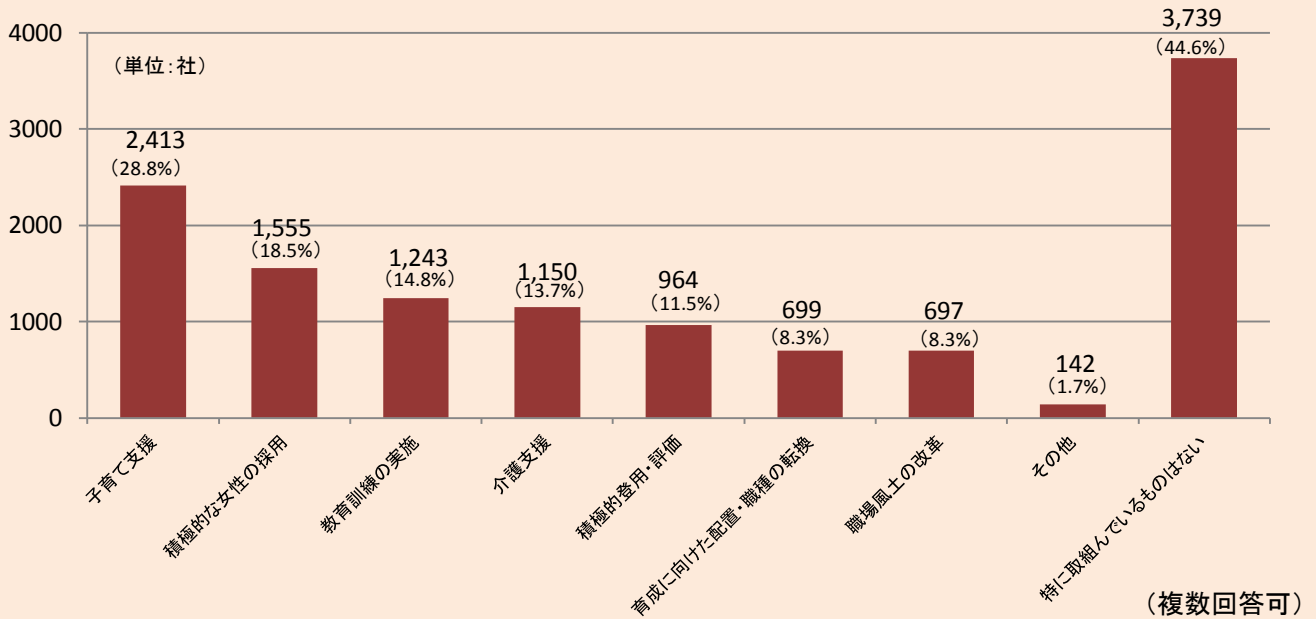


女性更衣室の設置状況



Ⅲ. 女性活躍のための企業の取組状況

女性職員の活躍促進の取組



ワークライフバランスの取組

